

主要仕様

型 番				SG-140	SG-200	SG-250
本体	寸法 (mm)	インナー部	長さ	1,220	1,820	2,320
			高さ	46.2 (シャッター垂直方向)		
			幅	36.8 (シャッター接触側)		
		アウター部	長さ	1,252	1,852	2,352
			高さ	53.0 (シャッター垂直方向)		
			幅	42.0 (シャッター接触側)		
	素材	インナー部	アルミ合金押出型材			
		アウター部	アルミ合金押出型材			
		アンカー部	ABS樹脂			
	ノブ		T字ノブボルト			
ホルダー	素材		鋼板			
シール	素材		CRゴム			
製品 (本体)	収縮・伸長さ (mm)		1,400～2,000	2,000～2,500	2,500～3,200	
	重量 (g)		1,950	2,790	3,490	

●特許第3912794号 ●特許第4092715号 ●国際公開番号WO 2007/138788 ●日本製



カラー



付属品



シャッターガードホルダー
シャッターを押す力だけでなく外から引張る力にも付属のホルダーで防御します。



防犯用シール (消耗品)
防犯目的でご利用の場合、アンカーに貼り付けるシールです。設置時にはシャッターが上がりなくなります。

[ご利用に際して]

注意 ご使用の際は、取扱説明書などをよくお読みの上で、正しくご使用ください。

■シャッターガードは、シャッターを防御する目的以外にご使用にならないでください。■シャッターガードを改造しないでください。事故、故障の原因になります。■シャッターガードの上に乗ったり、重量物を載せないでください。変形および故障の原因になります。■操作・収納時において、手・指のはさみ込みにご注意ください。また、ご使用時には、周りの人・物などに本体が衝突しないよう、確かめてからご使用ください。■シャッターガードを移動する際はノブを必ずしめて、インナーが伸びたり外れたりして落下等しないようにご注意ください。■シャッターガードを収納する際は、本体を収縮し、必ずノブをしめてください。■立てかけ時は、本体転倒による身体、物などへの衝突に十分注意し、インナー本体を収縮してから収納し、容易に転倒しないようにご注意ください。■シャッターガードは強風が通り過ぎ、天候がおちついたら、はずしてください。シャッターの開閉をスムーズにするため、1ヶ月以上設置したまま放置しないでください。

製品に関して新品の状態でご不具合があった場合、大変お手数ですが弊社までご連絡ください。

■製品の色は、印刷物ですので実際の色と若干ことなる場合があります。■製品仕様およびデザインは改善のため、予告なしに変更する場合があります。■実際の製品には、使用上のご注意を表示してあるものがあります。

●シャッターガードは(株)南国殖産が鳥取県産業技術センターの協力を得て、特殊加工技術メーカーと共同で開発し、南国殖産(株)が事業譲受した製品であり、販売店を通して皆さまにお届けします。

製造元 **NSK 南国殖産株式会社**

建設開発事業部リフォーム課 TEL099-251-5851
〒890-0053 鹿児島県鹿児島市中央町18番地1 FAX 099-253-1575
<https://nangoku-drr.jp>

型番	カラー	JANコード	本数
SG-140	ホワイト	4 562206 560048	
	シルバー	4 562206 560055	
SG-200	ホワイト	4 562206 560017	
	シルバー	4 562206 560024	
SG-250	ホワイト	4 562206 560093	
	シルバー	4 562206 560109	

MEMO

動画
配信中



▲ホームページはこちらへアクセス!



▲YouTube動画でご覧いただけます

シャッターガード販売店

小型シャッターガード (Sタイプ)



安心は、この1本から生まれる。

防風

SG-140 (1.4m~2m)

防犯

SG-200 (2m~2.5m)

SG-250 (2.5m~3.2m)



SHUTTER GUARD
Shutter Guard prevents the shutter from wind damages, when the storm comes

庫内の財産を守るシャッターガード

台風などの
強風時に

風災害

盗難

倉庫・車庫などの
防犯に

内側から、
ガッチリセット

800Pa相当に耐える強度 ※耐風圧:800Paの試験をパス。
(財団法人 日本建築総合試験所)

工具いらずで **簡単設置**

シャッターに **加工不要**

防犯としても効果大 ※防犯用シール使用

横幅 **1.4~3.2m(最大8m)**の手動式軽量シャッターに

強風や台風によって納屋・車庫・店舗内の大切な財産を破壊されたり、シャッターがこじ開けられて、車庫荒らしにあったという話をよく耳にしませんか？財産だけでなくシャッター本体の修理も、大変大きな出費です。そこで登場したのがシャッターガード。庫内の安全をしっかりと守ります。

シャッターガード導入までの3のステップ

1
STEP

ご自宅のシャッターをご確認ください

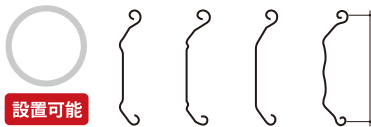
設置可能な **軽量シャッター**

2
STEP

シャッターの
スラット形状を
ご確認ください



スラット断面



●6cm以上の
ピッチ幅が必要です。

設置不可能

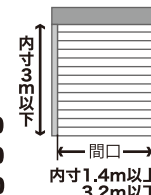


●形状が大きく波っているものや、アルミ製シャッターのように袋状になっているものには設置できません。
注1)この形状のシャッターには、シャッターガード本体は取付けできませんのでご注意ください。

3
STEP

シャッターの間口(内寸)を
ご確認ください

間口 1.4~2mの場合 → 型番 **SG-140**
間口 2~2.5mの場合 → 型番 **SG-200**
間口 2.5~3.2mの場合 → 型番 **SG-250**

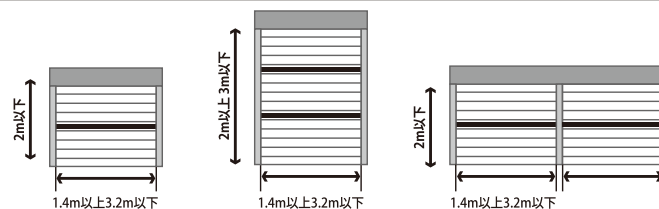


ご注意!!

- シャッターの内側にサッシなどの建具がある場合、設置できません。(シャッターと建具の間隔が10cm以上あれば設置可能です。)
- **窓用シャッター** には設置できません。
- **電動式シャッター** の開閉時には、故障の原因になりますので必ず取り外してください。

設置例

強風地域においては、シャッター1枚当たりに対する設置本数の増設をお勧めします。



- 1枚のシャッターにシャッターガード1本設置(高さを約2分割)
- 高さのあるシャッター 1枚にシャッターガード2本設置(高さを約3分割)
- 複数枚のシャッターにシャッターガード各1本設置(同じ高さ)

設置方法 ※各シャッターメーカーの強化中柱に交換することにより、より強い風圧に対応できます。



設置する高さ*1を決めます。



防犯用にご使用の場合、防犯用シールを貼ってください。*2

防犯シール未使用の場合
シャッターはシャッターガード設置位置まで開閉可能です。

防犯シールご使用の場合
シャッターは開閉できません。庫内への出入りは他の出入口をご利用ください。



片方を隙間(スラットとガイドレールの間)に差し込みます。



もう片方を伸ばして反対側の隙間に差し込みます。



シャッターガードホルダーを2箇所セットします。*3



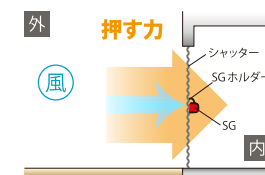
ストップノブを2箇所しめて固定します。

*1●設置可能寸法は間口1.4~3.2mで、高さ2mまでのシャッターの場合、シャッターガードを1本設置(床面より100cm程度・全高の約半分の高さ)してください。●高さ2m以上のシャッターの場合は、シャッターの全高を約3分割する程度にシャッターガードを2本設置すると効果的です。●ご使用のシャッターが、複数枚をガイドレールでつなげて設置の場合は、シャッターガードをシャッターの枚数分の本数、同じ高さに設置してください。*2●シャッターガードを防犯用にご使用の場合は、アンカーの汚れを十分に拭き取ってから、付属の「防犯用シール」を両端のアンカーに貼り付けてください。●貼り付ける際は、写真のようにアンカーの背面から貼り始めてください。●隙間(スラットとガイドレールの間)にアンカーを差し込んでガタつきがある場合は、二重に貼り付けてガタつかないように調整してください。●二重に貼り付ける必要がある場合は、1枚ずつ調整しながら貼り進めてください。*3●全体の設置の長さを3等分する間隔で、アウター側の本体にセットします。●シャッターのスラット部の上下にツメを引っ掛けるようにセットします。

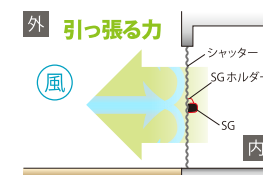
風のメカニズムとシャッターガード

※SG=シャッターガード

建物に対して吹きつけた風は、シャッターを建物内側へ押しこむと同時に、外側へ引っ張り、シャッターを膨らませることがあります。



シャッターを建物内側へ押す力には「シャッターガード本体」が内側への膨らみをブロックします。



シャッターを外側へ引っ張る力には、「シャッターガードホルダー」が外側への膨らみをブロックします。